



立正佼成会ニューヨーク教会

320 East 39th Street, New York, NY 10016 TEL: (212) 867-5677

E-mail address: koseiny@aol.com, Website : <http://rk-ny.org>



ニュースレター2021年 8月号

皆様こんにちは、いかがお過ごしでしょうか。

NYでは大半の人がノーマスクで街を歩いています。私も勇気を出してマスクを外してみると思わぬ新鮮さに気付かされます。レストランから漂う料理や車の排気ガスにおいて、化粧品の香りなど様々な街の様子が暫くマスクで遮断されていたことで忘れさせられていました。

この解放された状態がこのまま続くと良いのですが、まだ手放しているわけにはゆかず注意を怠ってはいけません。

コロナによる感染がゼロになったわけではなく、まだ多くの方々が亡くなられ、入院加療、自宅隔離中であることも事実です。これまでに尊い命を落とされた方々へのご冥福と現在加療中の皆様の無事回復を心よりお祈り申し上げます。そして昼夜を分かたず取り組んで下さっている医療関係の皆様、行政機関、エッセンシャルワーカーの皆様、深く感謝申し上げます。

さて私は先日ビザ更新のため暫く日本に一時帰国しておりました。書類での申請は事前に済んでおりましたが、在日米国大使館での面接とビザの受理が必要でした。

今回はビザの更新なのでスムーズに事が運ぶと考えていましたが、予想外の困難があり物理的、精神的な負担となり結果的に多くのことを学ぶことが出来ました。

先ず予約した面接日の朝にメールが大使館から入り、そこには本日は急遽本国からの通達で公休日となり予定の受付は中止で、再度予約申請をしてくださいとの内容でした。日本に入国してから2週間は感染防止上自宅で自主隔離のため外出が出来ず、残りの滞在日ですべての予定をこなさねばならず、再度の申請となると大幅に予定が狂ってしまいます。

どうしたものかと困り果てていると大使館から突然電話連絡があり、先程のメール通知はあまりにも唐突な事で皆様からの苦情が殺到したため大使館は休館となりますが、ビザの予約に限り受け付けますので予定通り来館してくださいとの事でした。その知らせに安堵し大使館で面接を終え、あとは準備が出来次第連絡をするのでその確定日にパスポートを受理できますから約2週間お待ちくださいとの説明に一安心し帰宅しました。

ところがその通知メールを待てども一向に届かず、いつパスポートを返却してもらえるのかが分からず、次第にNYに戻る予定日も迫ってきました。何度かビザの窓口でメールで問い合わせましたが返事はなく不安がつる毎日でした。いよいよNYへの出発日に間に合わないと諦めかけた3日前になりようやく知らせが入り無事ぎりぎりの日程で受理することが出来た次第です。

結果的にはビザの更新を終えNYに戻れましたが、この間の不安との闘いは決して穏やかではなく、そのことを通じて自己の信仰を見つめなおす機会ともなりました。

この間に感じたことがいくつかありますが、一つに物事は常に変化し、固定的に考えるのは自分のところが勝手に判断することで、良し悪しを自分で決めつけないゆとりの大切さです。

二つには、物事は自分の都合で決めた通りには必ずしも進まず、すべて「はからい」の世界にあるということでその「はからい」の世界をどこまで信じられるか、身をゆだねられるかということです。時に人は自分の努力だけではどうすることもできない場面と出会います。

自分自身がなしえる努力は、目前の出来事に振り回されることではなく今できることを一步一步歩み続け、結果はいかにあれ仏様におまかせするという「心境」になれるかどうかということではないでしょうか。今回はそうしたささやかな体験と気づきでしたが、自分自身の「心境」がどうであるかを試された気がいたします。そうした葛藤の中で「法句経」(ダンマ パーダ)の一節を思い起こしましたのでここに紹介したいと思います。

「悪が熟さないうちは、たとえ悪人であっても幸福を経験する。

しかし、悪が熟せば、悪人は禍に会う。

善が熟さないうちは、たとえ善人であっても不幸を経験する。

しかし、善が熟せば、善人は幸福にあう。」

目前の結果がいかにあれ、ひたすらに精進することが大切な王道であるということです。

今月、8月は真夏を迎え体調を崩さぬよう健康管理に注意し、心身ともに穏やかな精進が出来ますよう心掛けたく思います。



合掌

RKNY 畠山友利